

東日本大震災の影響で、利根川の下流域では例年以上に水防活動が重要になっています。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、利根川の下流域では堤防の沈下や亀裂、護岸の損傷など、247箇所(8月22日現在)もの被害が発生しました。

利根川下流河川事務所では直ちに復旧作業を実施し、目に見える被災箇所の応急復旧は5月末に完了しています。

応急復旧は完了したものの、堤防の中など、直接目で見ることができない部分に亀裂や空洞ができていく可能性があります。また、本格復旧の工事には時間がかかるため、工事期間中に洪水が発生することを避け、台風シーズン後の11月以降にせざるを得ません。

このような状況のため、今年の台風シーズンは例年以上に水防活動が重要になっています。



被災状況



応急復旧状況

地域の水防団とともに、巡視や点検を強化しています。



水防活動を強化するため、利根川下流河川事務所では、「はん濫注意水位」「水防団待機水位」などの基準水位を引き下げ、被災箇所を重要水防箇所に追加しました。

また、地域の水防団と合同で巡視や点検を行い、危険箇所の確認をするなど、利根川に異常があった時に「みんなで協力して早期発見・早期対策」ができるよう努めています。



印旛利根川水防事務組合
(千葉県成田市、佐倉市、栄町、白井市、酒々井町、八千代市、四街道市、印西市の6市2町)

杉田 昭一さん

台風シーズンを前に合同巡視、事前に点検

今回の震災では、栄町でも堤防の亀裂、陥没、沈下などかなりの被害があり、地域の住民の方も不安に思っているようです。目に見える被害は補修されたものの、まだ本格復旧はこれからですし、水防事務組合としても台風シーズンに入ってから一層気を引きしめています。

今年は震災を受けて、利根川下流河川事務所が重要水防箇所を見直しましたので、6月に行われた毎年恒例の事務所との合同巡視は、その見直しに基づいて行われました。説明を受けながら栄町の被災箇所を見て回ったのです。それとは別に、今年は台風シーズン前にも合同巡視を行っています。

住民のみなさんにも、普段から利根川を見てほしい

水防活動で一番の基本となるのは河川の巡視です。私もよく堤防へ行っているんですが、普段から川を見ることが大事ですね。今後はよりいっそう巡視の回数を増やすなど、堤防の状況をよく把握することで、小さな異常でも見逃さずに、洪水被害を防ぐための対応をしていきたいと考えています。

栄町では住民の方の意識が高く、家の近くの川をよく見ていて、何かあると連絡して下さるんです。そうして、普段から自分の住んでいる地域や川を見て、気づいたことを、水防団や河川管理者に伝えることも早期発見につながり、地域を守ることに繋がるといいます。



平成20年に栄町で行われた第57回利根川水系連合水防演習のようす(釜段工)



みなさんも、こんなところに注意して下さい!

日頃から気象情報、川の変化にご注意を!

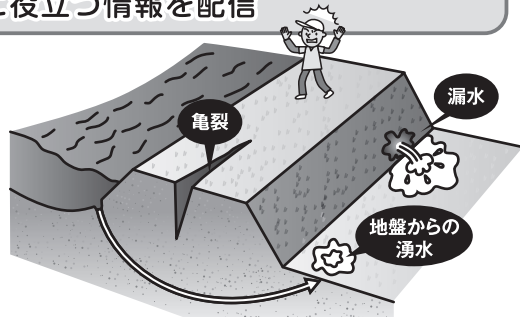
災害時には、すみやかに避難することが重要です。利根川下流河川事務所のホームページ(URLは紙面右下)では、その判断や状況把握に役立つような情報を提供しています。

- 【水位・レーダー雨量計情報】利根川の水位・雨量のリアルタイムデータを配信
- 【利根川下流ライブカメラ映像】川のライブ映像を配信
- 【防災・災害情報】“ハザードマップ”や“川の防災情報”など、日頃の備えに役立つ情報を配信

堤防などの異常に気づいたら通報を!

ご自宅近くの堤防や河川構造物(樋管や水門など)で漏水などの異常を発見したときは、地域の水防団や市町村役場、利根川下流河川事務所へご連絡をお願いします。

※ただし、危険を感じたり、避難の呼びかけなどがあった場合には、川には近づかずただちに避難してください。



取手市白山地区自主防災会(茨城県取手市)

手塚 興廣さん 佐藤 清さん
青山 義和さん 鈴木 茂さん 椎名 一夫さん(左から)

東日本大震災で変わった、地域の防災意識

今回の震災では、幸いにも白山地区に大きな被害はありませんでしたが、私たちは震災当日から、地区内の被害状況調査や、断水地域での給水活動支援などを行ないました。また、住民への注意喚起として「白山防災ニュース」の号外を地区の全戸に配布しました。

この地区では長年の間大きな災害が無かったため、災害に対する危機感はあるものの、具体的な手立てへの関心が薄いといった問題がありました。5年ほど前から防災に対する意識を高めてもらうため工夫を重ねてきましたが、今回の震災後には「防災訓練を甘く見ていた」という声が聞こえてくるなど、住民の皆さんも防災に対してより前向きになってもらえたようです。

自分の住んでいる町がどうい町なのかを知ってほしい

白山地区なら「起伏が多く道幅が狭い住宅密集地」というように、地域にはそれぞれ特徴があって、防災はその特徴を踏まえて考える必要があります。そのために、住民の皆さんには、自分の住んでいる町がどうい町なのかを知ってほしい。自分の町で災害が起こったとき、何が危ないか、どういところに気をつけるべきなのかを知ることで、防災に対する意識もだいぶ違ってくると思います。

また、地域の助け合いを大切に、震災直後のように情報が少なく、防災救急機関が十分活動できない状態でも、近所の人たちと一緒に、自主的に防災活動や避難行動をできるようにしていきたいと考えています。



避難訓練の様子

被災の状況や今後の対策、防災対策について、もっとくわしい情報&通報先はこちら!



国土交通省関東地方整備局
利根川下流河川事務所

〒287-8510 千葉県香取市佐原イ4149

☎.0478-52-6365

利根川下流 と 検索 してください。 <http://www.ktr.mlit.go.jp/tonage/>

